

平成 25 年度

川崎市盲人図書館事業概要

川崎市健康福祉局障害保健福祉部盲人図書館

目 次

1	川崎市盲人図書館の概要	3
(1)	設置及び事業者	3
(2)	所在地	3
(3)	沿革	3
(4)	施設規模	3
(5)	根拠法令等	3
(6)	事業の概要	4
(7)	組織	4
2	川崎市盲人図書館の事業について	5
(1)	図書館資料の維持管理	5
(2)	図書館資料等の貸出し	5
(3)	点字図書、録音図書及び録音雑誌の製作等	5
(4)	他の点字図書館等との点字図書、録音図書、雑誌等の相互貸借	5
(5)	サピエへの録音図書、点字図書及び録音雑誌のアップロード	5
(6)	テキスト DAISY 資料の製作とアップロード	5
(7)	利用者登録	5
(8)	「ぶっくがいど」の発行	6
(9)	CD 図書目録の作成	6
(10)	プライベートサービスの実施	6
(11)	点訳者及び音訳者の養成講座の実施	6
(12)	点訳者及び音訳者の育成・指導等	6
(13)	視覚障害者訓練事業	7
(14)	関係機関・団体との連絡調整	7
(15)	篤志家報告	7
(16)	市内のボランティア団体との連絡調整	8
(17)	その他啓発等の事業	8
3	平成 25 年度事業のあらまし	9
(1)	図書館資料の状況	9
(2)	利用者等の状況	13
(3)	プライベートサービスの実施状況	18
(4)	「ぶっくがいど」の発行状況	18
(5)	図書館資料の受入状況	19
(6)	点字図書校正者の養成講座の実施	19
(7)	点訳者の新年会及び点訳相談会の開催	20
(8)	音訳者の連絡会、校正者会議の開催	20
(9)	音訳者の養成講座の実施	20
(10)	表彰	20
(11)	川崎市盲人図書館まつりの未実施について	20
(12)	読書会の開催	20
(13)	視覚障害者訓練事業の実施状況	22

(1 4) 指定管理者への事業の引継ぎ 35

1 川崎市盲人図書館の概要

(1) 設置及び事業者

川崎市

(2) 所在地

〒210-0024 川崎市川崎区日進町5番地1 川崎市福祉センター内

(3) 沿革

- ・昭和37年11月13日 旧社会福祉会館内に「盲人図書室」として開設する。
- ・昭和43年4月1日 厚生省から「点字図書館」としての指定を受ける。
- ・昭和49年7月1日 現在地に移転、「盲人図書館」と名称を変更する。

(4) 施設規模

階	名称	面積		備考
1	盲人図書館 管理係事務室	117.0	m ²	福祉センター管理部門
1	盲人図書館 図書資料室	37.0	m ²	
3	盲人図書館 事務室	72.0	m ²	盲人図書館事業分
3	盲人図書館 訓練室1	26.0	m ²	
3	盲人図書館 訓練室2	49.0	m ²	
3	盲人図書館 書庫・複製室	43.0	m ²	
3	盲人図書館 校正室	10.5	m ²	
3	盲人図書館 点字製版室	15.0	m ²	
3	盲人図書館 録音室	20.0	m ²	
3	盲人図書館 書庫	78.0	m ²	
3	視覚障害者交流室A	36.0	m ²	
3	視覚障害者交流室B	54.0	m ²	
3	倉庫・湯沸室・廊下ほか	196.0	m ²	
	計	753.5	m ²	

(5) 根拠法令等

- ・身体障害者福祉法第34条「視聴覚障害者情報提供施設」
- ・障害者総合支援法第77条「市町村の地域生活支援事業」
- ・身体障害者社会参加支援施設の設備及び運営に関する基準（省令）
- ・川崎市福祉センター条例

(6) 事業の概要

本市の区域内に居住する視覚障害者の更生及び援護育成を図るため、次の事業を行う。

- ・点字図書及び録音図書の閲覧及び貸出しに関する事。
- ・読書用器材の貸出しに関する事。
- ・点訳者及び音訳者の育成指導に関する事。
- ・点字物及び録音物の発行に関する事。
- ・その他、視覚障害者の更生及び援護育成を図るために必要な業務に関する事。

(7) 組織

川崎市健康福祉局障害保健福祉部盲人図書館

- ・館長 1名
- ・管理係 6名 (係長 1名、管理係員 5名)
- ・図書館・指導係 13名 (係長 1名、図書館班 7名、指導班 5名)

2 川崎市盲人図書館の事業について

(1) 図書館資料の維持管理

日々の維持管理に加えて、図書整理期間を設けて修繕、除籍などを実施しています。

(2) 図書館資料等の貸出し

貸出しは、来館、電話、手紙（点字によるものを含みます。）、FAX、電子メール、視覚障害者情報総合ネットワークサピエ（以下「サピエ」という。）を利用したのオンラインリクエストの方法により受け付けています。

発送による貸出しは、原則として、1日1回行っています。

また、希望者には、雑誌（点字、CD及びテープ）の定期貸出しも行っています。

なお、来館及び電話受付は、平日の午前8時半から午後5時15分までです。

(3) 点字図書、録音図書及び録音雑誌の製作等

全国視覚障害者情報提供施設協会の製作基準に準拠し製作しています。

また、ボランティアグループ等からの寄贈図書の受入れも行っています。

なお、製作図書の選定は、利用状況等を勘案し、選書会議にて決定しています。

(4) 他の点字図書館等との点字図書、録音図書、雑誌等の相互貸借

主にサピエを通じて、全国規模での相互貸借を行い、他の点字図書館等が所蔵する点字図書、録音図書、雑誌等を借り受けて、当館利用者へ貸し出すサービスを行っています。

(5) サピエへの録音図書、点字図書及び録音雑誌のアップロード

川崎市盲人図書館の利用者へのサービスだけでなく、全国の視覚障害者へのサービスにも貢献できるように、蔵書情報や蔵書データをアップロードしています。

(6) テキスト DAISY 資料の製作とアップロード

著作権法の改正に基づき、新たなコンテンツであるテキスト DAISY の製作とサピエへのアップロードを行いました。

(7) 利用者登録

氏名、住所、生年月日、広報誌の希望の有無などを電話等で聞き取りのうえ、受け付け、登録しています。

また、利用登録できる方は、川崎市在住、在勤、在学の方で、視覚による表現の認識に障害のある方です。

なお、2年に一度、登録情報の更新を行っています。

(8) 「ぶっくがいど」の発行

新刊情報のほか、視覚障害者へのタイムリーな情報を掲載し、墨字版、点字版、テープ版及びCD版を作成し、偶数月末日に発行しています。

また、盲人図書館のホームページにバックナンバーを掲載しています。

(9) CD 図書目録の作成

5年に1度を目安にCD 図書の目録を作成しています。

前は、2012年4月受入分までの自館所蔵のCD 図書を対象とし、2012年10月に希望者へ著者名順、書名順で整理し、それぞれ墨字版とCD版を提供しました。

(10) プライベートサービスの実施

個人的なニーズに応えるため、次のようなサービスを提供しています。

No.	サービス名称	内容
①	点訳	墨字の手紙などを点字にします。
②	点字複写	点字データを打ち出します。
③	墨字訳	点字の手紙などを墨字にします。
④	代筆	お手紙などの代筆を行います。
⑤	録音朗読	電気製品の取扱い説明書などをCD 図書にします。
⑥	複製サービス	他館のテープ図書をCD 図書にします。
⑦	対面朗読	墨字の手紙などを読み上げます。
⑧	読書用機材貸出し	CD 図書再生機の貸出しを行います。

※「読書用機材貸出し」について

川崎市盲人図書館の所蔵のCD 図書を聞くためには、専用の機器が必要ですが、そのための読書用機材を購入までの試用として、6ヶ月を目安に貸し出しています。

(11) 点訳者及び音訳者の養成講座の実施

隔年で点訳者及び音訳者の養成講座を実施しています。

(12) 点訳者及び音訳者の育成・指導等

技術向上のための研修や研究会を実施・支援しています。

また、点訳者及び音訳者の管理とともに活動実績の管理を行い、各種表彰の根拠資料として利用します。

さらに、点訳者及び音訳者の技術向上と交流を目的として、新年会、連絡会、校正者会議等を実施しています。

(13) 視覚障害者訓練事業

障害者ケアマネジメントの手法による訓練等を行っています。

ア 訓練

- ・コミュニケーション訓練

点字、ハンドライティング及び音声読み上げソフトを利用したパソコン操作

- ・歩行訓練

手引き、屋内歩行及び白杖による歩行

- ・日常生活訓練

調理、裁縫・編物、日常身辺処理

イ 相談

視覚障害に関する各種相談（訓練、各種用具・機器、進路等）に応じます。

ウ 実施方法

訓練は、訪問又は当館への通所のいずれかの方法で行います。

相談は、電話の場合は随時受け付け、来館の場合は予約が必要です。

なお、来館及び電話受付は、平日の午前8時半から午後5時15分までです。

(14) 関係機関・団体との連絡調整

ア 市内関係機関

- ・市立図書館
- ・多摩川の里身体障害者福祉会館

イ 外部加盟組織

- ・全国視覚障害者情報提供施設協会
- ・日本盲人社会福祉施設協議会自立支援施設部会
- ・関東地区点字図書館協議会
- ・神奈川県視覚障害者情報提供施設連絡協議会
- ・神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会

(15) 篤志家報告

録音図書、点字図書等をボランティア団体などから寄贈された内容を報告書（寄贈年月日、寄贈された図書等、寄贈した団体名等及びその住所を記載）としてまとめ、川崎市健康福祉局長へ提出しています。

(16) 市内のボランティア団体との連絡調整

ア 川崎市視覚障害者ボランティア連絡会（オブリガード）

障害者と共に生き、共に歩む地域活動を理念としています。

川崎市内の視覚障害者にかかわっている録音、点訳、拡大写本、パソコンサポートなどのボランティアグループが連携し、障害者のニーズに迅速かつ的確に応えています。

なお、参加グループは、次のとおりです。

活動分野	グループ名
録音グループ	水車の会 さんざし ひいらぎ かざぐるま
点訳グループ	芽の字会 スターシックス ぶれいる アンダンテ 里の芽会 木の芽会
拡大写本グループ	ルーペの会 とんぼ ぺんパルの会
CD 図書グループ	DAISY 川崎
パソコンサポートグループ	川崎パソコンユーザー会 あさお PC クラブ 川崎パソコンクラブ (KPC)

イ 川崎市盲人図書館を活動拠点としているグループの紹介

・水車の会

「情報ポケット水車」及び「音のしおり」を月刊で発行しており、盲人図書館で発送作業を行っています。

また、録音図書の寄贈等もあります。

・デイジー川崎

CD 図書の製作委託契約を締結しています。

・川崎パソコンユーザー会

ユーザー（視覚障害をお持ちの方）とサポーター（パソコンサポートボランティア）が情報バリアフリーをめざし、パソコン操作を勉強をしています。

(17) その他啓発等の事業

読書会（年2回）、川崎市盲人図書館まつりを開催し、図書館事業の理解と普及に努めています。また、本事業概要を毎年度作成し、6月頃を目処に関係部署・団体へ送付しています。

3 平成 25 年度事業のあらまし

(1) 図書館資料の状況

カセットテープ図書製作を取り巻く状況の変化等により、カセットテープ図書の貸出しが困難な見通しとなっていました。

それに伴い、かねてより準備を進めて参りましたが、2013年12月27日のリクエストを最後にカセットテープ図書の貸出しを終了しました。

カセットテープ図書の貸出し終了にあたり、他館で重複製作されているもの、マスターテープの劣化によりCD化に耐えられないもの等を除いて、変換作業が完了しました。

利用者の方へは、CD図書再生機器の操作指導講習会を定期的を開催するとともに、当事者団体による講習会への講師派遣、また来館の困難な方へは家庭訪問を実施することでご理解をいただけるよう努めました。このようにできる限りの準備を行い、カセットテープ図書の貸出しを終了させていただくこととしました。今後は、CD図書をご利用いただくことになりました。

なお、週刊誌・月刊誌については、製作館がテープを中止するまで取り寄せます。

ア 蔵書

・分類別蔵書数

分類	点字図書		CD図書	
	タイトル	冊数	タイトル	枚数
0 総記	72	257	88	88
1 哲学	85	286	199	199
2 歴史	102	528	386	386
3 社会科学	283	1062	477	478
4 自然科学	160	662	435	435
5 技術	104	426	130	130
6 産業	53	206	95	95
7 芸術	111	425	220	220
8 言語	25	117	35	35
9 文学	1281	4571	2231	2231
E 絵本・その他	7	16	1	1
合計	2283	8556	4297	4298

※テープ図書は、全て除籍しました。

・受入種別蔵書数

受入	点字図書		CD 図書	
	タイトル	冊数	タイトル	枚数
自館製作	2155	8556	1284	1284
購入	0	0	2	2
寄贈	16	48	2642	2643
厚労省委託	112	250	369	369
他館複製	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	2283	8854	4297	4298

・平成 25 年度除籍蔵書数

点字図書		テープ図書		CD 図書	
タイトル	冊数	タイトル	巻数	タイトル	枚数
1110	2439	2644	13561	153	193

イ 貸出しを行っている雑誌

・点字雑誌 9 誌

雑誌名	発行間隔
からだの科学	〔月刊〕
経絡治療	〔月刊〕
東洋療法	〔月刊〕
鍼灸柔整新聞	〔月刊〕
鍼灸の世界	〔月刊〕
旅	〔隔月刊〕
点字ジャーナル	〔月刊〕
点字毎日	〔週刊〕
やまびこ	〔月刊〕

・CD 雑誌 47 誌

雑誌名	発行間隔
声の週刊朝日	〔週刊〕
週刊現代	〔週刊〕
週刊文春	〔週刊〕
週刊新潮	〔週刊〕
女性自身	〔週刊〕

ニューズウィーク	〔週刊〕
週刊ポスト	〔週刊〕
近刊録音図書情報	〔月刊〕
世界	〔月刊〕
天声人語	〔月刊〕
やまびこ通信	〔月刊〕
点字毎日	〔隔週〕
壮快	〔月刊〕
社説5誌	〔旬刊〕
アベ・マリア	〔月刊〕
英語よもやま通信	〔月刊〕
暮らしの手帖	〔月刊〕
医道の日本	〔月刊〕
NHK きょうの健康	〔月刊〕
NHK 趣味の園芸	〔月刊〕
総合リハビリテーション	〔月刊〕
声の食生活情報	〔月刊〕
声のナショナルジオグラフィック 日本版	〔月刊〕
声の婦人公論	〔月刊〕
ラジオ深夜便	〔月刊〕
ニュートン	〔月刊〕
日経サイエンス	〔月刊〕
日経マネー	〔月刊〕
NHK 俳句	〔月刊〕
小説現代	〔月刊〕
小説新潮	〔月刊〕
小説宝石	〔月刊〕
小説すばる	〔月刊〕
オール読物	〔月刊〕
音訳PHP	〔月刊〕
歴史読本	〔月刊〕
旅行読売	〔月刊〕
文芸春秋	〔月刊〕
みんなく	〔月刊〕
東洋経済	〔月刊〕
日経パソコン	〔月刊〕
にっぺんデイジーマガジン 文芸春秋	〔月刊〕
にっぺんデイジーマガジン ホームライフ	〔月刊〕
別冊文芸春秋	〔隔月刊〕

声の広報「厚生」	〔隔月刊〕
東京くらしねっと	〔隔月刊〕
おしゃれなひととき	〔季刊〕
ロバさんの万華鏡	〔季刊〕

・ テープ雑誌 8誌

暮らしの手帖	〔月刊〕
声の食生活情報	〔月刊〕
声の婦人公論	〔月刊〕
ダンスファン	〔月刊〕
千葉だより	〔月刊〕
糖尿病ライフさかえ	〔月刊〕
ニュートン	〔月刊〕
ラジオ深夜便	〔月刊〕

(2) 利用者等の状況

ア 利用者及び市内の視覚障害者の状況

(ア) 利用者数

25年度の新規登録	25年度の登録抹消	登録者
23	4	319

(イ) 障害等級別利用者数

障害等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	未所持
人数	173	105	10	4	9	2	16※

※障害者手帳は持ってませんが、視覚表現のままでは、読書が困難な方です。

(ウ) 年齢別利用者数

年齢	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
人数	3	9	13	30	45	85	86	42	6

イ 資料の貸出状況

(ア) 分類別資料貸出 (個人)

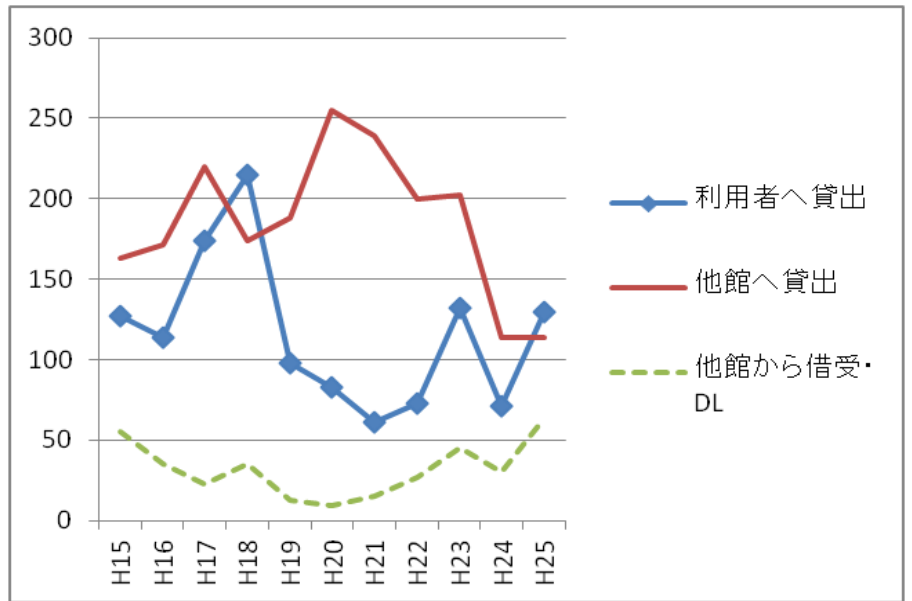
分類	点字図書		テープ図書		CD 図書	
	タイトル	冊数	タイトル	巻数	タイトル	枚数
0 総記	1	1	0	0	85	85
1 哲学	4	10	3	18	150	150
2 歴史	0	0	3	17	272	272
3 社会科学	2	7	7	33	268	271
4 自然科学	0	0	18	57	281	281
5 技術	0	0	9	37	135	135
6 産業	1	6	2	18	66	66
7 芸術	6	12	4	14	217	232
8 言語	1	2	0	0	48	48
9 文学	115	419	130	614	6646	6656
NHK 厚生文化事業団委託	0	0	162	568	28	28
その他	0	0	0	0	0	0
小計	130	457	338	1375	8196	8224
雑誌	430	430	821	1684	4543	4549
合計	560	887	1159	3059	11273	11277

(イ) 図書館間の資料の相互貸借

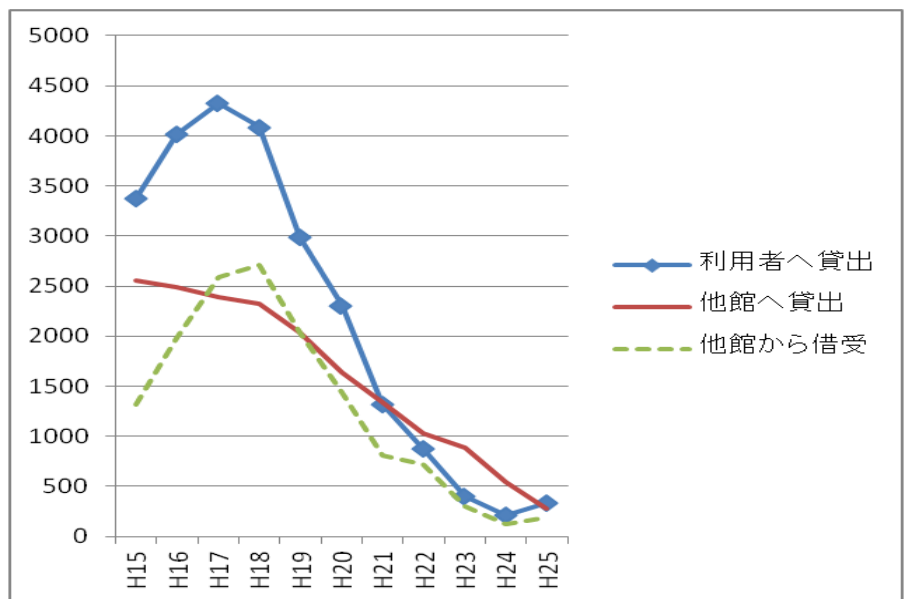
	館種別	点字資料		テープ資料		CD 資料	
		数	タイトル	数	タイトル	数	タイトル
貸 出	点字図書館	94	タイトル	145	タイトル	1967	タイトル
	公共図書館	20	タイトル	137	タイトル	627	タイトル
	学校図書室	0	タイトル	0	タイトル	1	タイトル
	病院	0	タイトル	0	タイトル	0	タイトル
	その他	0	タイトル	2	タイトル	4	タイトル
	計	114	タイトル	284	タイトル	2599	タイトル
借 受	点字図書館	62	タイトル	177	タイトル	5496	タイトル
	公共図書館	0	タイトル	0	タイトル	145	タイトル
	その他	1	タイトル	8	タイトル	2	タイトル
	計	63	タイトル	185	タイトル	5643	タイトル

(ウ) 利用状況の推移

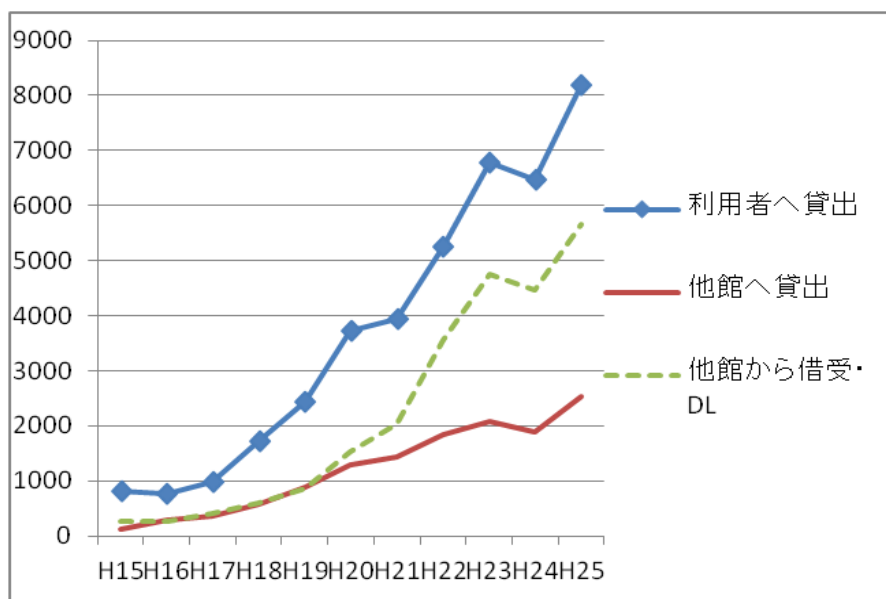
点字 図書	利用者 へ貸出	他館へ 貸出	他館 から借 受・DL
H15	127	163	55
H16	114	171	35
H17	174	220	23
H18	215	174	35
H19	98	188	13
H20	83	255	9
H21	61	239	15
H22	73	200	27
H23	132	202	45
H24	71	114	30
H25	130	114	64



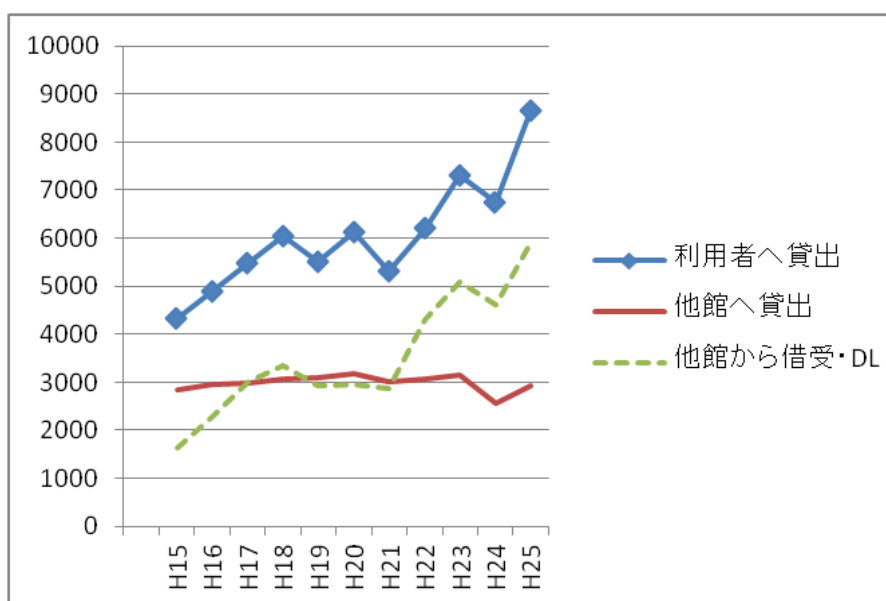
テープ 図書	利用者 へ貸出	他館へ 貸出	他館 から借 受
H15	3373	2553	1319
H16	4017	2495	1986
H17	4329	2390	2593
H18	4088	2319	2709
H19	2987	2034	2032
H20	2309	1637	1435
H21	1319	1340	806
H22	873	1032	721
H23	402	884	299
H24	216	541	125
H25	338	282	185



CD 図書	利用者へ貸出	他館へ貸出	他館から借受・DL
H15	818	123	269
H16	756	283	252
H17	984	362	397
H18	1731	564	601
H19	2426	875	868
H20	3724	1286	1520
H21	3929	1444	2037
H22	5252	1839	3567
H23	6779	2073	4752
H24	6464	1893	4463
H25	8196	2522	5649



全図書	利用者へ貸出	他館へ貸出	他館から借受・DL
H15	4318	2839	1643
H16	4887	2949	2273
H17	5487	2972	3013
H18	6034	3057	3345
H19	5511	3097	2913
H20	6116	3178	2964
H21	5309	3023	2858
H22	6198	3071	4315
H23	7313	3159	5096
H24	6751	2548	4618
H25	8664	2918	5898



(3) プライベートサービスの実施状況

点訳	9件	244頁
点字複写	32件	13661頁
墨字訳	0件	
代筆	0件	
録音朗読	3件	22時間
複製サービス	3件	29時間
対面朗読	0件	
読書用機材貸出し	14台	

(4) 「ぶっくがいど」の発行状況

墨字版	点字版	テープ版	CD版
85名	46名	38名	191名

(5) 図書館資料の受入状況

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの受入状況
・分類別蔵書数

分類	点字図書		CD 図書	
	タイトル	冊数	タイトル	枚数
0 総記	5	11	12	12
1 哲学	6	24	22	22
2 歴史	5	21	53	53
3 社会科学	34	105	43	43
4 自然科学	11	37	26	26
5 技術	7	18	10	10
6 産業	3	9	18	18
7 芸術	5	27	35	35
8 言語	2	5	6	6
9 文学	54	196	270	270
合計	132	453	495	495

・受入種別蔵書数

受入	点字図書		CD 図書	
	タイトル	冊数	タイトル	枚数
自館製作	67	260	432	432
購入	0	0	2	2
寄贈	22	70	31	31
厚労省委託	43	123	30	30
合計	132	453	495	495

※テープ図書の製作は、平成23年度で終了しました。

(6) 点字図書校正者の養成講座の実施

一定の実績を有する当館登録の点訳者に対して受講者を募集した結果、15名の受講希望者が集まりました。

5月22日から7月17日まで全5回の演習を含む講座を行い、最終審査の結果、15名全員が合格しました。

(7) 点訳者の新年会及び点訳相談会の開催

ア 点訳者新年会

点訳者の交流を目的として、新年会を開催しました。

イ 点訳相談会

校正者を講師とし、点訳で生じた疑問点の相談会を4回実施しました。

(8) 音訳者の連絡会、校正者会議の開催

ア 音訳関係者連絡会

音訳関係者が全員参加することができる音訳者の連絡会を開催しました。

今年度は指定管理への引継ぎ等で連絡会は、1回の開催になり、29名の参加がありました。

イ 校正者会議

年度を通じて計2回の校正者会議を開き、様々な課題について、議論し、コミュニケーションを取ることができました。

(9) 音訳者の養成講座の実施

読み方講習会とPRS録音ページ付講習会を開催しました。

読み方講習会には28名、PRS録音ページ付講習会には、9名の参加がありました。

(10) 表彰

長年にわたり、当館の運営に多大なる御協力と他の音訳者や点訳者の模範となる活動を行った方々を推薦し、次のような表彰を受けることができました。

ア 厚生労働大臣表彰（音訳奉仕活動）

杉友 三千代

イ 「川崎市民のつどい」における市長表彰者

(身体障害福祉に係る更生援護功労者)

音訳奉仕者 檜垣 康子

岡 道子

(11) 川崎市盲人図書館まつりの未実施について

視覚障害者福祉に関する啓発及び川崎市盲人図書館の利用促進を目的として、毎年2月に開催してましたが、今年度は、次年度の指定管理者制度移行に伴う準備のため、中止としました。

(12) 読書会の開催

春の読書会を次の内容で開催しました。

ア 日時 平成25年5月24日（金）13:30～16:00

イ 会場 エポックなかはら 中原区上小田中6-22-5

ウ 作品 「きことわ」 朝吹 真理子著

エ 参加者 11名

秋の読書会を次の内容で開催しました。

ア 日時 平成25年11月15日(金) 13:30~16:00

イ 会場 エポックなかはら 中原区上小田中6-22-5

ウ 作品 「海の島」 トール アニカ著

エ 参加者 10名

(13) 視覚障害者訓練事業の実施状況

ア 訓練申請と利用契約の状況

平成 25 年 3 月の川崎市視覚障害者訓練事業実施要綱の改正によって、申請先が各福祉事務所から盲人図書館へ変更となり、利用者と直接契約を結ぶ形式に変更となりました。

(ア) 訓練の申請状況

平成 24 年度からの申請繰越 3 件、平成 25 年度申請分 22 件、合わせて 25 件の訓練申請がありました。

	平成 25 年度実績	前年度実績
申請受付件数	22	25
前年度からの申請繰越し件数	3(※)	4
申請件数計	25	29

(※)要綱改正後の手続きにより、改めて利用者と直接契約を結んだ件数です。

(イ) 訓練の契約状況

申請のあった 25 件全てに対して、訓練利用契約を締結し、訓練を実施しました。

	平成 25 年度実績	前年度実績
新規契約件数	25	0(※)
前年度からの契約継続件数	0	
契約件数計	25	0

(※)要綱改正前の手続き（利用者と直接契約を結ばない手続き）により、昨年度の訓練を実施した件数は 33 件です。

イ 訓練生の状況

(ア) 年齢別の状況

平成 25 年度に訓練を実施した 25 名の年齢別の統計です。

主に中途視覚障害者を対象としているため、40 歳以上の方がほとんどです。

区分	男	女	計
18 歳未満	0	0	0
18 歳以上 40 歳未満	0	2	2
40 歳以上 65 歳未満	2	9	11
65 歳以上	5	7	12
計	7	18	25

(イ) 地区別の状況

区分	男	女	計
川崎福祉事務所	1	0	1
大師福祉事務所	0	0	0
田島福祉事務所	1	0	1
幸福祉事務所	2	6	8
中原福祉事務所	0	3	3
高津福祉事務所	0	3	3
宮前福祉事務所	2	3	5
多摩福祉事務所	0	2	2
麻生福祉事務所	1	1	2
計	7	18	25

(ウ) 障害程度別の状況

大区分	小区分	男	女	計
1 級	0(a)	0	2	2
	明暗弁(b)	1	3	4
	手動弁(c)	0	2	2
	指数弁(d)	0	0	0
	0.01(e)	3	2	5
2 級		2	6	8
3 級		0	1	1
4 級		0	1	1
5 級		0	0	0
6 級		0	0	0
不所持		1	1	2
計		7	18	25

(a) 両眼が失明した者

(b) 暗室にて被検者の眼前で照明を点滅させ、明暗が弁別できる視力がある者

(c) 検者の手掌を被検者の眼前で上下左右に動かし、動きの方向を弁別できる者

(d) 検者の指の数を答えさせ、それを正答できる最長距離が1m未満の者

(e) 両眼の視力の和が0.01以下の者

(エ) 障害歴の状況

障害歴とは、障害者手帳の取得時期からの期間を指しています。

障害歴	男	女	計
1年未満	1	0	1
1～2年未満	0	0	0
2～3年未満	0	0	0
3～5年未満	2	2	4
5～10年未満	2	4	6
10～20年未満	0	7	7
20年以上	2	5	7
先天盲	0	0	0
計	7	18	25

(オ) 障害原因別の状況

大区分	小区分	男	女	計
中途障害	外傷	1	0	1
	糖尿病	1	1	2
	原因不明	4	16	20
	その他(※)	1	1	1
先天障害		0	0	0
計		7	18	25

(※) 視神経膠腫、はらだ病

(カ) 眼疾患別の状況

区分	男	女	計
眼球全体(a)	3	2	5
角膜疾患(b)	0	2	2
水晶体疾患(c)	1	3	4
ブドウ膜疾患(d)	0	1	1
網膜疾患(e)	4	12	16
視束・視路疾患(f)	1	2	3
硝子体疾患	0	0	0
強度近視	0	0	0

(a) 緑内障、ステューブンスジョンソン症候群、眼球ろう、内因性眼内炎

(b) 角膜白斑、角膜白濁

(c) 白内障、両眼無水晶体

(d) ブドウ膜炎

(e) 網膜色素変性症、糖尿病網膜症、網膜剥離、虚血性網膜症、増殖性網膜炎、網膜芽細胞腫

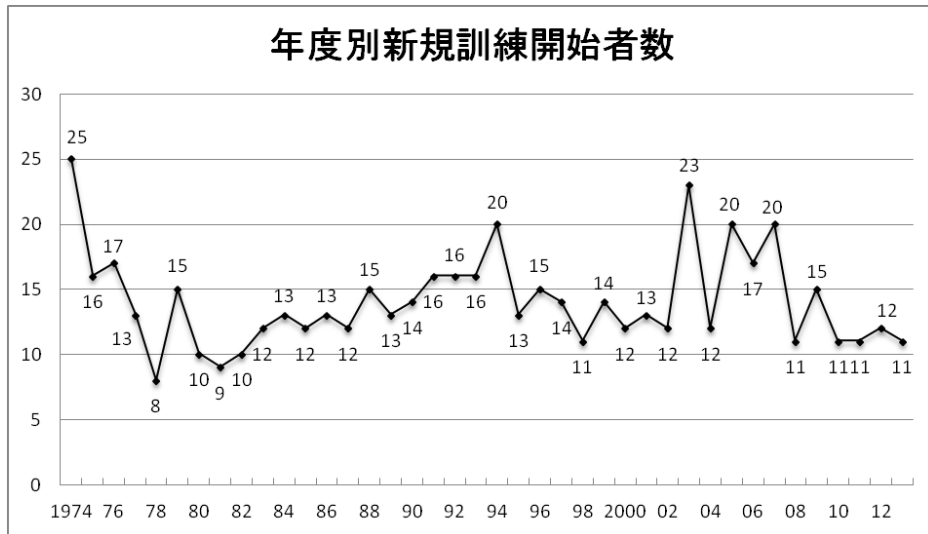
(f) 視神経委縮、有髄神経線維

眼疾患については、一名が複数の疾患を有している場合もすべて計上しています。

ウ 訓練の年度別の状況

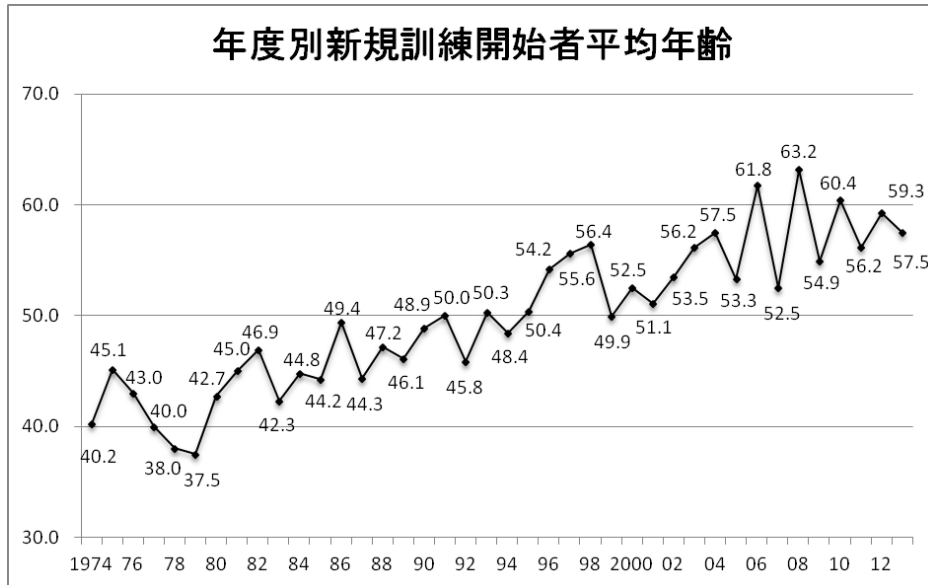
(ア) 新規訓練開始者の状況

新規訓練開始者の数は、ここ3～4年で横ばいになっています。



(イ) 新規訓練開始者の平均年齢の状況

年度別での平均年齢をみると、ここ10年は50～60歳代で推移しており、緩やかな上昇傾向にあることが分かります。



エ 訓練の内訳

平成 25 年度に実施した訓練の内訳です。合計 49 件、延べ 578 回の訓練を実施しました。

区 分		平成 25 年度				平成 24 年度	
		男	女	計	訓練回数	件数	訓練回数
コミュニケーション訓練	点 字	2 件	4 件	6 件	90 回	9 件	120 回
	ハンドライティング	0 件	0 件	0 件	0 回	0 件	0 回
	パソコン	4 件	11 件	15 件	236 回	12 件	145 回
	小 計	6 件	15 件	21 件	326 回	21 件	265 回
歩行訓練	白 杖	4 件	7 件	11 件	87 回	12 件	114 回
	小 計	4 件	7 件	11 件	87 回	12 件	114 回
日常生活訓練	身辺処理	5 件	4 件	9 件	69 回	7 件	72 回
	裁縫・編物	0 件	0 件	0 件	0 回	0 件	0 回
	調 理	5 件	3 件	8 件	96 回	5 件	31 回
	小 計	10 件	7 件	17 件	165 回	12 件	103 回
計		20 件	29 件	49 件	578 回	45 件	482 回

オ 各訓練の状況

(ア) コミュニケーション訓練

訓練実施件数は、点字 6 件、パソコン 15 件の計 21 件で、点字の減少、パソコンの増加が顕著です。視覚のほかに精神・身体・内部障害の手帳所持者がそれぞれ 1 人ずつおり、また 60 歳以上の方が 8 人と増加傾向であり、年を追うごとに、共通の訓練プログラムを土台としながらも、様々な面で個別対応が必須となっています。障害を受け入れるためのきっかけづくりとして点字・パソコンを学び、それを足掛かりとして社会復帰を目指すケースも多く見られます。

点字は、6 人中 3 人が大きいサイズを利用しました。また、特に若い人を除き、6 人中 5 人が数マス～数行のメモの読み書きを目標としましたが、メモの内容は日本語点字のみ、アルファベット、数学記号まで幅があります。

パソコンは、ほとんどがメールを含めたウェブ利用を目標としましたが、動画再生のみを楽しむ人から、大学進学や職業訓練への移行など、大変幅があります。

(イ) 歩行訓練

平成 25 年度に実施した歩行訓練 11 件中 4 件は以前歩行訓練を受けたことがある方が再度訓練を申し込んだものでした。

この 4 件中 2 件は新たな訓練目的が出来たことによる訓練申込みですが、残りの 2 件は視覚の状態が悪くなったことによる訓練申込みでした。

視覚障害者の歩行訓練はその時の見え方に対応した訓練しか出来ず、視覚状態が悪くなったら再度行う必要があるためです。

また、交通機関を使う訓練を 11 件中 5 件と約半数の方に実施しました。このことは、同行援護を使わずに、単独で自分の希望する場所へ行きたいという訓練生が少なくないことを示しています。

その他にも、自宅近辺の歩行訓練や、透析のため通院している病院の院内歩行訓練など、本人の希望や目的、体調、視覚の状況によって訓練内容は変わってきます。

(ウ) 日常生活訓練

平成 25 年度に実施した訓練は身辺処理が 8 件、調理が 9 件、裁縫は 0 件でした。そのうち身辺処理と調理を両方実施した方は 3 人でした。

身辺処理訓練は掃除や片付け、簡単な裁縫などの日常生活一般の内容の訓練の他に、CD 図書再生機や携帯電話などの機械操作の訓練も行いました。

機械の操作に自信のなかった方も CD 図書を楽しめるようになる、携帯電話でメールを打てるようになるなどの成果がありました。

また、今年度の調理訓練は電磁調理器や電子レンジを使った方が多かったことが特徴です。火を使わないため、安全な調理法を身に付けることができました。

カ 相談業務等の状況

(ア) 相談の状況

各種用具の相談が最も多く見られました。また、盲人図書館への相談を通じて、初めて視覚障害者のための各種用具について知るといった例も多くありました。

複数の区分にまたがる相談もあり、困っていることが生活全般にわたっていることが分かります。

以前訓練を受けていた方からの相談も多く、訓練が終了しても継続的な支援が必要であるといえます。

区分	件数	平成 24 年度 件数
訓練(a)	55	36
各種用具(b)	80	69
その他(c)	23	23
計	158	128

(a) 訓練に関する相談の種類と件数

1 件の相談に対して複数の訓練の相談を含む場合もあります。各種訓練相談の他に、どういう訓練があるのか、どの訓練を受けるべきかといった訓練全体に対する相談もありました。

(b) 各種用具に関する相談の種類と件数

1 件の相談に対して複数の用具の相談を含む場合もあります。白杖、視覚障害者用ポータブルレコーダーの相談が多く見られました。

(c) 生活全般について、将来への不安、進路について、パソコンのフォローアップなどの相談がありました。

(イ) 訪問指導・来所指導の状況

1件の相談に対して、数回の訪問あるいは来所が必要になる場合があります。そうしたケースを訪問指導あるいは来所指導として、相談および訓練とは分けて対処しています。

区分	件数	延回数
訪問指導	47件	61回
来所指導	22件	24回
計	69件	85回

具体的には、視覚障害者用ポータブルレコーダーの基本的な使い方、白杖・日常生活用具の紹介、生活状況の聞き取り等です。

キ 川崎市盲人図書館訓練事業説明会

- (ア) 日時 平成25年6月19日(水) 13:30~16:30
(イ) 場所 川崎市福祉センター 5階ホール
(ウ) 対象 福祉事務所、県内関係施設、当訓練担当職員
(エ) 参加人数 23名
(オ) 内容
・平成24年度事業報告及び質疑・意見交換
・日常生活用具・補装具類の操作体験

ク 屋外交流会の実施状況

職員とマンツーマンで訓練している訓練生が、同じ障害を持つ訓練生と交流・親睦を深め、今後の社会参加を促すことを目的として実施しました。

当日は津久井浜観光農園へみかん狩りに行きました。朝から大雨でスケジュールを少し変更しましたが、みかん狩りを行うときには青空に変わり、「おいしいみかんを味わうことができました。」などの感想がありました。

- (ア) 日時 平成25年11月7日(木) 8:00~16:00
(イ) 場所 津久井浜観光農園
(ウ) 参加人数 訓練生13名、付き添い及び職員21名、合計34名

ケ 訓練生懇親会

今年度新たに、日頃外出の機会が少ない訓練生を対象とした懇親会を行いました。視覚障害についての不安や悩みを分かち合うことや、それぞれの買物の仕方などを話し合うことで生活していく上での工夫を知ることなど、参加者にとって有意義な会になりました。

- (ア) 日時 平成 25 年 9 月 18 日、12 月 11 日、平成 26 年 2 月 19 日
各回 13:00~15:00
- (イ) 場所 盲人図書館
- (ウ) 参加人数 5~6 名

コ パソコンサポートボランティア養成講座

前年度まで講師派遣という形で行っていた当講座を、今年度は盲人図書館の主催で、基礎講座と応用講座に分けて各 3 回、計 6 回実施しました。

- (ア) 日時 基礎講座 平成 25 年 10 月 17 日、10 月 24 日、10 月 31 日
各回 9:30~11:30
- 応用講座 平成 25 年 11 月 21 日、12 月 5 日、12 月 19 日
各回 13:30~15:30
- (イ) 場所 エポック中原 5 階ボランティア交流室
- (ウ) 参加人数 基礎講座 8 名、応用講座 14 名

サ 講師派遣の状況

- (ア) 川崎市同行援護従事者養成研修 (一般課程)
- a 日時 平成 25 年 7 月 18 日、9 月 20 日、11 月 15 日
- b 場所 川崎市教育文化会館
- c 内容 障害者 (児) の心理
- (イ) 川崎市同行援護従事者養成研修 (応用課程)
- a 日時 平成 25 年 8 月 21 日、10 月 16 日、12 月 12 日
- b 場所 川崎市教育文化会館
- c 内容 障害者 (児) の心理
- (ウ) 総合学習授業の講師
- a 日時 平成 25 年 11 月 1 日
- b 場所 川崎市立稲田小学校
- c 内容 さまざまな立場の人の気持ちを考える学習
- (エ) 高津市民館市民エンパワーメント研修
- a 日時 平成 26 年 1 月 30 日
- b 場所 川崎市高津市民館
- c 内容 歩行訓練士と共に考える視覚障害者の歩行環境と支援

(オ) ユニバーサルサービス研修

- a 日時 平成 25 年 11 月 29 日
- b 場所 川崎市役所第 4 庁舎
- c 内容 全盲の方にとって必要に感じる配慮とは

シ 研修への参加状況

(ア) 第 22 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会

- a 日時 平成 25 年 6 月 22 日、6 月 23 日
- b 場所 チサンホテル コンファレンスセンター新潟
- c 内容 見えないを見えるにする「心・技・体」

(イ) 川崎市相談支援従事者初任者研修

- a 日時 平成 25 年 7 月 29 日、8 月 1 日、8 月 7 日、8 月 9 日
9 月 25 日、9 月 26 日
- b 場所 川崎市役所第 4 庁舎
- c 内容 障害者総合支援法の概要、ケアマネジメントの概論・実践

(ウ) アイダス協会研修会

- a 日時 平成 26 年 2 月 1 日
- b 場所 幼きイエス会 (ニコラ・バレ) 修道院 9 階
- c 内容 点字から iPad まで、情報アクセス支援の今日的あり方を探る

(エ) マッキントッシュパソコンはどこまで使えるか

- a 日時 平成 25 年 7 月 27 日
- b 場所 (株) ラビット
- c 内容 視覚障害者が、日本語の画面読み上げソフトでマッキントッシュ・パソコンを使ううえでの基礎的事項と問題点について

ス 関係機関との連携

- (ア) 日本盲人社会福祉施設協議会
平成 25 年度自立支援施設部会職員研修会
- a 日時 平成 25 年 11 月 28 日、11 月 29 日
 - b 場所 東京第一ホテル下関
 - c 内容 事業部会、分科会、施設見学（光明園、春光苑）
- (イ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会定期総会
- a 日時 平成 25 年 5 月 23 日
 - b 場所 神奈川県ライトセンター
 - c 内容 平成 24 年度事業報告並びに決算報告
平成 25 年度事業計画及び予算案
- (ウ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会職員研修会
- a 日時 平成 25 年 11 月 28 日
 - b 場所 神奈川県ライトセンター
 - c 内容 各施設の防災への対応等について
- (エ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会事務連絡会
- a 日時 平成 25 年 6 月 20 日、9 月 19 日、平成 26 年 2 月 20 日
 - b 場所 神奈川県ライトセンター、藤沢市点字図書館、横浜訓盲学院
 - c 内容 職員研修会の内容について、パンフレットの改定について
- (オ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会歩行事例検討会
- a 日時 平成 25 年 7 月 16 日、平成 26 年 1 月 14 日
 - b 場所 神奈川県立平塚盲学校、横浜市立盲特別支援学校
 - c 内容 講演「超音波スピーカーの開発と今後の展望」、事例検討
- (カ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会コミュニケーション指導事例検討会
- a 日時 平成 25 年 8 月 6 日、10 月 8 日、平成 26 年 2 月 4 日
 - b 場所 神奈川県ライトセンター
 - c 内容 タブレット端末の指導事例、各施設の指導状況
- (キ) 神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会日常生活指導事例検討会
- a 日時 平成 25 年 7 月 31 日、11 月 13 日
 - b 場所 川崎市盲人図書館、
 - c 内容 糖尿病患者の指導事例、視覚障害者の化粧の指導

(14) 指定管理者への事業の引継ぎ

川崎市盲人図書館は、平成 26 年 3 月 31 日にて事業を終了します。平成 26 年 4 月 1 日以降、社会福祉法人日本点字図書館が指定管理者として事業を引き継ぎ、名称も川崎市視覚障害者情報文化センターと変更し、川崎市の視覚障害者等の方々に図書の貸出しや訓練等の様々なサービスを行ってまいります。

それに伴い、本年度を事業の引継ぎ期間として位置づけ、社会福祉法人日本点字図書館と次の業務を委託契約し、引継ぎを行いました。

- ア 川崎市視覚障害者情報文化センター開設準備室の設置・運営
- イ 事業運営の基本方針、運営要綱、運営規程の作成
- ウ 物品調達、受け入れ及び設置
- エ 図書館サービスに係る事業内容、利用者状況の把握と移行計画の作成
- オ 訓練事業に係る利用者支援内容等個人状況の把握及び支援計画の作成
- カ 訓練事業に係る利用契約に係る事務手続
- キ 複合福祉施設内の他施設の指定管理者との調整
- ク 利用者向け周知
- ケ 障害者団体、図書館協力者、ボランティア関係者等の意見交換会への出席
- コ 障害者団体、図書館協力者、ボランティア関係者等の要望に対する対応
- サ 職員募集、職員研修
- シ その他本施設の管理運営開始に向け必要な業務

平成 25 年度川崎市盲人図書館事業概要

発行	川崎市健康福祉局障害保健福祉部 盲人図書館
発行日	平成 26 年 3 月 31 日

川崎市盲人図書館は平成 26 年 4 月 1 日より次のとおり指定管理者制度に移行し、名称変更するとともに所在地が変わります。

名称	川崎市視覚障害者情報文化センター
指定管理者	社会福祉法人日本点字図書館
住所	〒 2 1 0 - 0 0 2 6 川崎市川崎区堤根 3 4 - 1 5
電話	(0 4 4) - 2 2 2 - 1 6 1 1
F A X	(0 4 4) - 2 2 2 - 8 1 0 5
メールアドレス	kawasaki-icc@kawasaki-icc.jp
ホームページアドレス	http://www.kawasaki-icc.jp